

# 花どけい

'06/12/18 No.45



## NPO 法人 ぐるーぷ藤

〒251-0025 藤沢市鵠沼石上 2-1-2  
鵠沼フラワーマンション 206

TEL 0466-24-6100  
FAX 0466-24-3100

E-mail : [npo-fuji@cityfujisawa.ne.jp](mailto:npo-fuji@cityfujisawa.ne.jp)  
<http://www.cityfujisawa.ne.jp/~npo-fuji>

居宅介護支援事業 ぐるーぷ藤ケアマネジメント  
TEL 24-7100 FAX 24-3100

訪問介護事業 ぐるーぷ藤ホームヘルプ  
TEL 24-3100 FAX 24-3100

通所介護事業 ティハウス藤の花  
〒251-0045 藤沢市辻堂東海岸 1-7-28  
TEL 35-5600 FAX 35-5800

通所介護事業 ティハウス菜の花  
〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸 2-9-11  
TEL 35-7330 FAX 35-7330

ボランティアすみれ TEL&FAX 24-6100

発行責任者：鷺尾 公子

## お元気ですか



理事長 鷺尾 公子

暖冬とはいえ冬将軍の訪れを迎え撃つ季節となりましたが、皆さまはお変わりなくお過ごしでしょうか。寒いからといって部屋は締め切ったままにせず、適度な換気を行いましょ。そしてやはり風邪対策は手洗いとうがいです。ソクツときたらあつゝいハチミツしモンなどで、身体を温めお休みください。

十五年前、五人の呼びかけで集まった十五名の乗組員による手漕ぎボートは、雨の日も晴れの日も手を休めることなく漕ぎ続けました。大きな波が来たときはスクラムを組み、台風に出遭ったときは肩を寄せ合い船を守り、台風が去った後は皆で傷ついた船体を修理し、穏やかに晴れ渡った日は空を見上げて夢を語り、波を乗り越えることに乗組員を増やしその絆を太くしていきました。現在は百名の乗組員と二百五十余名の乗客を乗せ、多少の波風にはびくともしない航海ができる客船になろうとしています。

今年無事に十五周年を迎えることができたのも、私達を信頼し応援し育ててくださったご利用者の皆さまのおかげです。また様々な情報を交換し合い声援を送ってくださった地域の方々、そして忘れてならないのは荒波に漕ぎ出し

た私達をハラハラしながらも絶えず見守り続けてくれた家族の皆さま、全ての関係者の方々に感謝したいと思います。

私たちはこれからも初心を忘れず、安心して住み続けることができるまちづくりをめざし活動していきます。

先日、デイハウス藤の花の管理者と共にスウェーデンに研修に行ってきました。今年は建物に及ぼす色彩心理を学んできましたが、偶然にも見学先が二年前に訪問した施設でした。スウェーデンでも福祉にお金がかかり過ぎるとの判断から、民営化が進みそのお手本となる施設のハズでした。



今年訪問してその変わりように驚きました。まず施設のあちこちが傷んでいました。前回感動した入居者の食堂のテーブルセッティングは影も形もありませんでした。一般市民に開放された食堂でも、味の違いは歴然でした。コーディネートに質問したところ、入居者の事故も増えていて民営化の評判が悪く、また公営に戻そうという議論が始まっているということでした。とても残念に感じました。福祉に効率化を求めると、このような結果になることは明白です。利用者本位のサービスとは何かお手本を示されたようでした。

さて、福祉マンション建設の時期が決まりました。藤が岡は名前の示すとおり小高い丘にあり太古の昔から住宅には適地だったようです。建設予定地は古代のロマン漂う弥生時代の住居跡が見つかり現在発掘調査中です。宝物が出土した場合これも「藤」の財産になるのでしょうか？（笑）何はともあれ二月中には調査も終わり、三月に着工の運びとなりました。完成は十月の予定です。

入居についてたくさんのお問い合わせを頂いておりますが、三、四階のケア付き住宅はこの紙面をもって受付開始とさせて頂きます。なお地元説明会時の約束もあり四室を藤が岡地域の方優先とさせて頂きます。二階のグループホームにつきましては、障害者自立支援法との関係から、来年度に入ってから募集となります。いよいよ私たちの夢の実現ですが、喜びと共に身の引き締まる思いです。地域の核となれるような福祉マンションを作って行きます。



# 「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」への

## アクセス

### 《藤沢駅よりのアクセス》

北



南



### 《拡大地図》

藤沢駅北口から

★徒歩 13分

★バス

さいか屋前

6番乗り場

「藤が岡循環」

バス停3番下車



### ふじファンド経過報告

昨年十二月に設立したふじファンドが、四十八名の方々から、九九〇万円のお申し込みをいただいたことは、花どけい四二号でご報告させていただきました。この市民資本は、全額福祉マンション建設用地取得の資金に充てさせていただきました。

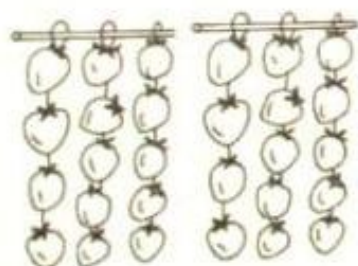
資金を持たないNPOであるぐるーぷ藤が土地を取得できましたのは、ふじファンドの力添えがあったればこそ、ご協力いただいた皆さんに感謝いたします。今回、福祉マンション建設実現のために大勢の外部の方々と接する機会がありましたが、皆さん異口同音にふじファンドには驚嘆されておりました。

来年三月の満期までにはまだ余裕がありますが、一年契約されている方々に、意思確認をさせていただきましたところ、継続される方が多くいらっしゃいましたので、次期募集につきましては、これから検討させていただきます。



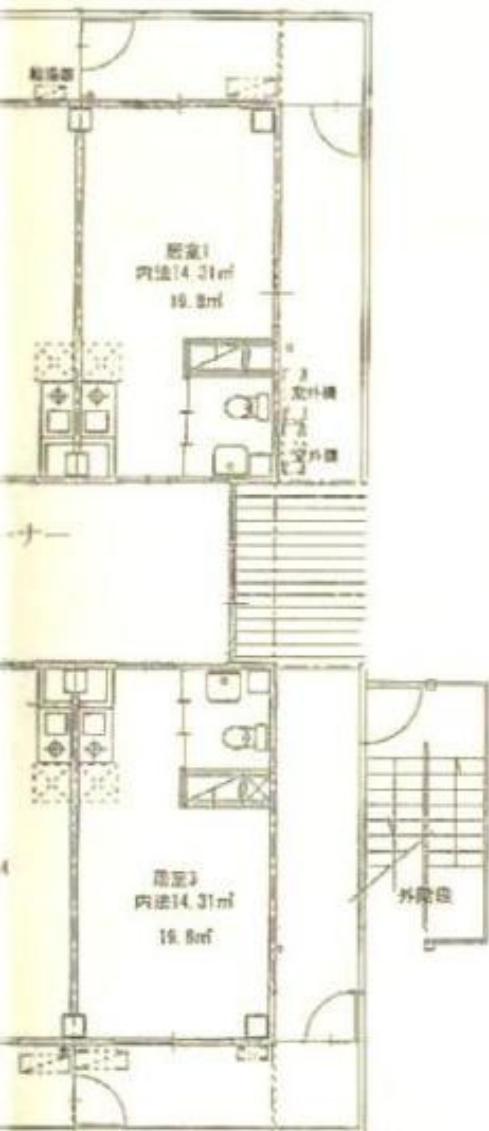
# 心のすまい

をあげて支えます！



## ケア付き住宅に入居するには

- 入居できる方・・・ケアを必要とされる方
- 部屋の広さ・・・19.8㎡(12畳)
- 入居金と利用料



〔北側の部屋〕    〔南側の部屋〕

### ※入居一時金

契約金	100万円	100万円
入居金	700万円	800万円
敷金	50万円	50万円
	<b>850万円</b>	<b>950万円</b>

### ※利用料

家賃	6万円	7万円
共益費	7万円	7万円
	<b>13万円</b>	<b>14万円</b>

※食事代(希望者) 3食×1か月 約5.5万円

### ○お申し込みについて

- ※ 12月20日(水)AM9:00より、申し込みの受付をいたします。
- ※ まず、下記にお電話ください。
- ※ お伺いしてお話をし、手続きをさせていただきます。
- ※ 申込金は5万円(契約金の一部に充当いたします)
- ※ なお、一旦お預かりした申込金は、お返しできませんのでご承知ください。

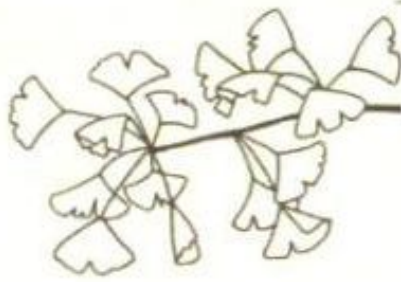
### ○お申し込み・お問い合わせは

TEL. 0466-24-6100(NPO法人ぐるーぶ藤)



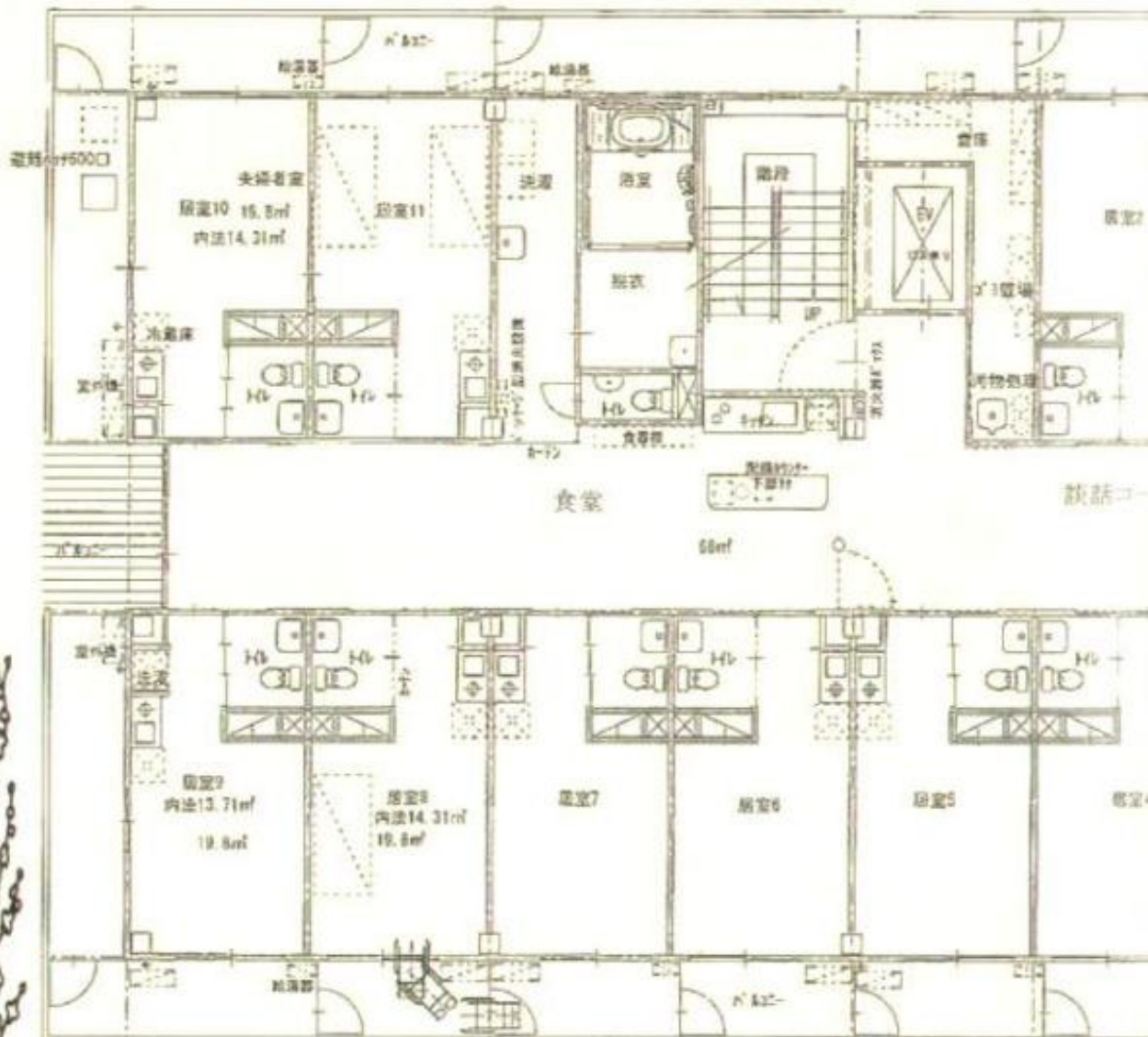
# 共生と安心

ぐるーぷ藤が総力

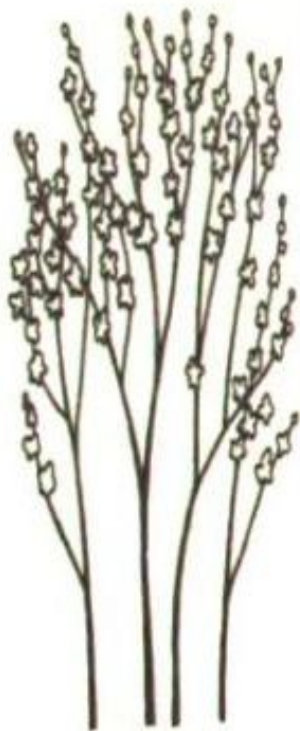


ケア付き住宅のある 3・4階の見取り図です

北



南



# デイハウス 藤の花

## 地域密着型 認知症対応デイ

開所から6ヶ月...

木曜日はおでかけデイ



コスモ入畑にも  
行ったのよ!



「茶屋 亜希子」に到着



来週はどこに  
行きましょうか

素敵な建物ね



とてもおいしいわ  
全部いただきました!



11月1日より火曜日・木曜日に加えて

日曜日も開所しました!



## 短歌五首

中嶋 文香

・冬籠る 障子のまぶしく輝くは

たまさかの晴れ日 春立ちており

・手を取られ 高野山参道を行きにつつ

若き男孫の 掌温し

・磐梯山 のびやかな稜線目の前にして

やさしき山よ われも恋うなり

・懸命に 若きにつきて 濕原をゆく

ただひたすらに 足元見すえて

・夜の路で 昨日会いたる近隣の人

今日急逝とぞきく 立ちどまりたり



## スウェーデン研修を終えて

デイハウス藤の花 管理者 佐藤 律子

9月27日(水)～10月2日(月)の間「カラーサイコセラピスト、木村千尋先生と行く環境色彩心理、視察体験」ツアーに参加しました。スウェーデンの街並、高齢者住宅、認知症高齢者デイケアセンターと同グループホーム、地域高齢者デイセンター、カラーセンター(※)、知的障害者施設、養護学校等を訪問し、それぞれが多様な色彩を上手に取り入れ、人々の心理に良い影響を与えている現状を知りました。

例えば、家の外壁はとてもきれいなコーラルピンクやサーモンピンク。鉄骨の建物でも窓枠が赤、青、黄色。まるで街全体がカラー写真のようでした。見学した施設や住宅は言うまでもなくとても明るい色がふんだんにつかわれています。その色にはそれぞれ意味を持っているということを教わりました。

食堂のオレンジのカーテンは唾液の分泌が良くなる、青色の壁は心を落ち着かせ集中力が持続する、ピンクは人の心を癒す力があるとか。浴室の壁をピンクにすると入浴介助のスタッフの疲労感も軽減される等、スウェーデンの人々は色の持つ様々な力を、自然に取り入れ生活しています。

スウェーデン(北欧)というと福祉先進国というイメージです。この国は自然・環境をととても大切にしています。植物、動物、人に対して思いやりと優しさのある暮らしを大切にしています。それは街のあちこちに見られます。信号の高さ(ドライバーに見やすい)、横断歩道の前後の道路(スピードを抑えるため盛り上がっている)などがそうです。そのような環境への優しさ思いやりが、この国を福祉先進国に導いた根底にあるものだと私は感じました。

「バリアフリー」は日本では段差をなくすという意味で使われますがスウェーデンでは『心のバリアフリー』が実行されている国だと思いました。障害があっても、歳をとっても、子育て中も、一人ひとりがどのようにして生きたいのか、『バリアフリーの心』で考えられていました。

私は今回の研修で学んだことをこれからのサービスに生かしながら、人に優しいまちづくりをしていきたいと心から思いました。(※まちのすべての色彩を研究する施設です)



## すみれだより



10月1日(日)“あおぞら祭り”に参加しました。

私たちはご利用者と同行したり、売店、ごみ処理の係りを受け持ちました。

雨が降ったり、やんだりの中、ご利用者達は、焼きそばや秋刀魚の炭火焼、ジュース等のお買い物やくじ引き、余興等を楽しんでいらっしゃいました。

地元商店街の皆さんと、ご家族、職員の方々、そして市民ボランティアのあたたかい手で開催される“あおぞら祭り”には、毎回感動を覚えます。来年も楽しみです。(T)

## テイハウス藤の花 庭だより

ハーブガーデンづくり

本田 明美

2年前初めて藤の花のお庭を拝見した時、最初に目に飛び込んできたのが斜面に広がる芝生でした。それを取り囲む立派な松や大家さんが丹精されているバラや椿、季節を彩る果樹の数々。芝生の中央からぐるりと見渡せる視界の広さに感激しました。

この斜面の芝生を生かしてガーデンをつくりゲストや来訪者の方々に癒しのひと時を感じてもらえたらどんなに素敵だろう！そこで私たちはまず最初に芝生の中央に、ハーブガーデンの象徴的なスペースを作る事から始めました。

直径3mほど芝生をはがし、1400年以前から薬効が利用され「ローズ」とは正にこの花の色といわれる、バラの中のバラ「ロサ・ガリカ・オフィキナリス」をその中央に入れました。周りには代表的なハーブ(パセリ・セージ・ローズマリー・タイム・ラベンダー etc)を植え込み、ガーデンベンチとテーブルを置いてささやかながらも正統派?このようにしてハーブガーデンづくりがスタートしたのです。

～つづく～

1月～3月の予定

運営会議報告及び部門会議 1/13、2/10、3/10  
設立15周年記念集会 1/21

### 編集後記

★今回は写真班ががんばって撮影してきました。いかがでしょうか？

いよいよ福祉マンションが3月に着工、忙しくなりそうです。

(小野淑・戸田・橋本・長谷川・村田)

受付

月～金 9:00～18:00

TEL:24-6100

(お気軽にお電話ください)

平日の時間外(18:00～翌日9:00)

土、日、祝日にお急ぎの方は

**090-7015-7062**

におかけください。